

令和2年産

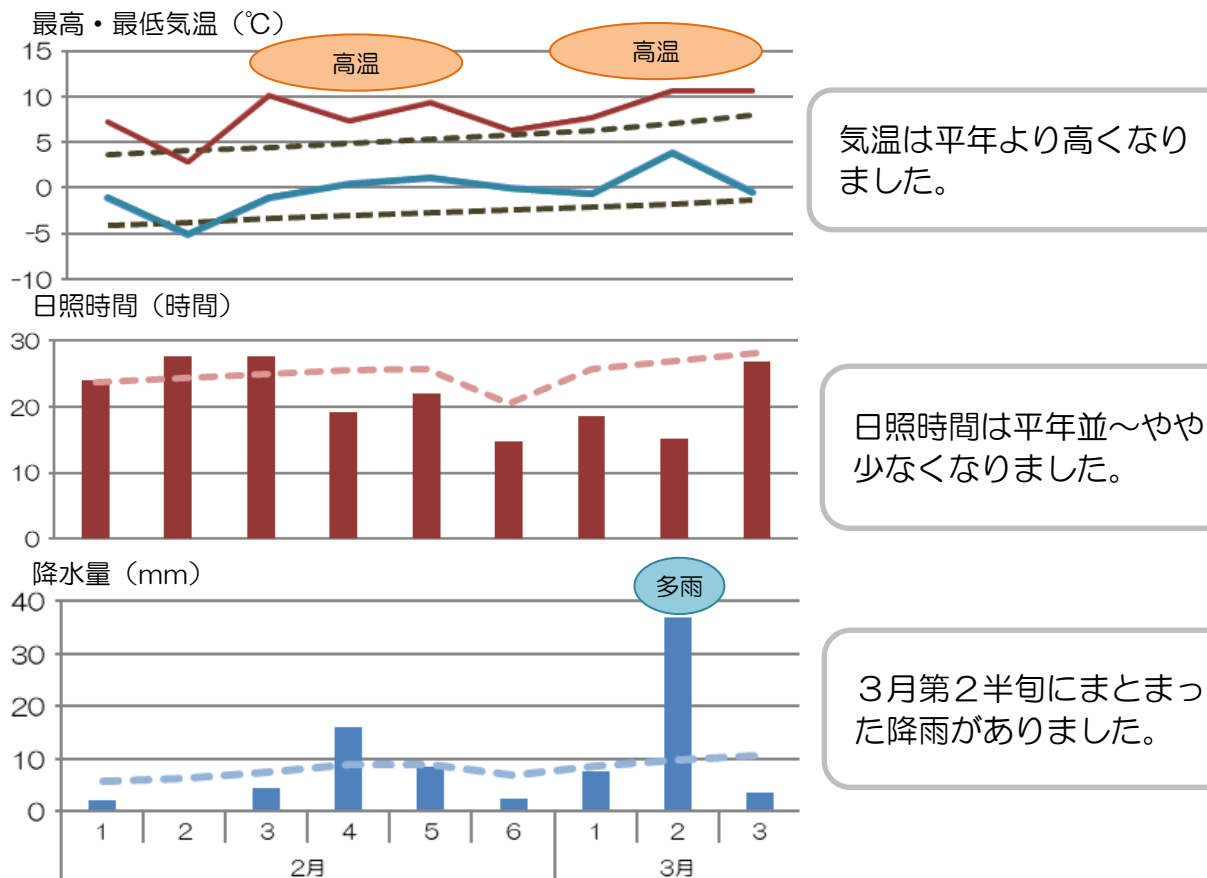
大崎麦作情報 第3号

令和2年3月19日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL0229-91-0726 FAX 0229-23-0910
<http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～今後の管理のポイント～

- 茎数確保のために追肥を行いましょう。
- 雑草の発生状況を確認して防除を行いましょう。
- 排水対策を徹底しましょう。

1 気象経過



気温は平年より高くなりました。

日照時間は平年並～やや少なくなりました。

3月第2半旬にまとまった降雨がありました。

図1 気象経過 (アメダス古川)

※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値。

2 生育状況（3月18日現在）

- 草丈は13.0cmと平年並でしたが、莖数は635本/m²と前回調査（2/8時点）からやや回復したものの平年を下回りました。また、白鳥による食害が一部見られました。
- 幼穂長は0.4mm（平年差-0.6mm）と生育が停滞しております。

表1 生育調査ほの生育調査結果

地区名 品種名	播種日			草丈 (cm)			莖数 (本/m ²)			幼穂長 (mm)		
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	11/1	+13	+11	13.0	116%	107%	635	68%	63%	0.4	-0.8	-0.6

※平年差（比）は、過去5か年（平成27年～令和元年産）の平均値との比較

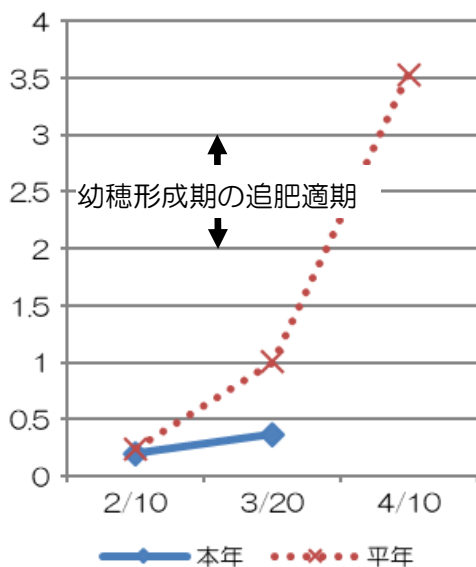


図2 生育調査ほ（品種：シラネコムギ）における幼穂長の推移

写真 生育調査ほの様子
（上：前回調査 下：本調査）

3 今後の生育ステージの見通し

- 今後の生育ステージの見通しとして減数分裂期及び出穂期が平年より7日遅くなると予測されます（表2）。
- 仙台管区气象台による向こう1か月の天候では、気温が平年より高いと予想されるので、追肥の適期を逃がさないよう今後の生育状況に注意しましょう。

表2 幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	播種日			減数分裂期			出穂期		
	本年	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	11/1	+13	+11	5/7	+5	+7	5/16	+5	+7

※1 平年差は、過去5か年（平成27年～令和元年産）の平均値との比較

※2 普及に移す技術第91号（麦類の生育ステージ予測シート）をもとに予測

※3 栽培管理上の目安であり、実際の生育ステージは今後の気象条件によって変動あり

4 今後の管理

3月16日に仙台管区気象台より「高温に関する早期天候情報」が発表されました。今後の気象情報に注意して、追肥・雑草防除等の栽培管理を徹底しましょう。

(1) 追肥

3/18現在の調査結果では幼穂長が平年より短く、生育が停滞していますが、今後高温が予想されることから生育が急激に進む可能性があります。生育状況に注意しながら幼穂形成期の追肥を行いましょ。幼穂形成期の追肥は「有効茎歩合の増加（穂数の確保）」につながります。

表3 追肥時期と施肥量の目安（小麦）

追肥の種類	幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8~9割出穂)
追肥時期	3月下旬~4月中旬	4月下旬~5月上旬	5月中旬
N施肥量 (kg/10a)	2~2.5	4~5	2~2.5
硫安の場合 (kg/10a)	10~12	20~25	10~12
尿素の場合 (kg/10a)	4.5~5.5	9~11	4.5~5.5

(2) 雑草防除（茎葉処理剤）

本年は暖冬で雑草の発生が多くなることが懸念されるので、節間伸長期前に除草剤の散布を行いましょ。特に連作年数が長いほ場や㎡当たり茎数が少ないほ場については注意して防除を行いましょ。

表4 茎葉処理剤一覧（小麦）

除草剤名	対象	使用時期	希釈倍数使用量 (散布液量)	本剤 使用回数
ハーモニー 75DF水和剤	スズメノテッポウ	播種後~節間伸長前	5~10g/10a (100L)	1回
	一年生広葉雑草	播種後~節間伸長前	5~10g/10a (100L)	
	一年生広葉雑草	節間伸長開始期~穂ばらみ期 (ただし収穫45日前まで)	3~10g/10a (100L)	
アクチノール 乳剤	畑地一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで（雑草生育初期）	100~200mL/10a (70~100L)	2回以内
バサグラン 液剤	一年生雑草（イネ科を除く）	麦類の生育期（雑草3~6葉期） (ただし収穫45日前まで)	100~200mL/10a (70~100L)	1回
MCP ソーダ塩	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期 (ただし収穫45日前まで)	200~300g/10a (70~100L)	1回

農薬の登録情報（令和2年3月11日現在）

(3) 排水対策

麦類は湿害に弱い上、本年度の麦の根量は少なく根張りも浅いと予想されるので、排水対策（排水溝の手直しや暗きよの点検整備等）を徹底しましょ。

(4) 麦踏み

茎の徒長防止や深根化等を促進するため、越冬後の麦踏みを行っていない方は行いましょ。しかし、茎立期以降の麦踏み、又はほ場が湿っている状態での麦踏みは逆効果となりますので、麦の生育状況とほ場の状態に注意してください。

高温に関する早期天候情報（東北地方）

令和2年3月16日14時30分
仙台管区气象台 発表

東北地方 3月24日頃から かなりの高温
かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.4℃以上
東北地方は、向こう2週間の気温は高い日が多く、19日頃と24日頃からは暖かい空気に覆われるため、かなり高くなる可能性があります。
農作物の管理等に注意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。

東北地方 1 か月予報

（3月21日から4月20日までの天候見通し）

令和2年3月19日
仙台管区气象台 発表※抜粋

<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い確率80%です。週別の気温は、1週目は高い確率80%、2週目は70%、3～4週目は50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	10	80
【降水量】	東北太平洋側	30	30	40
【日照時間】	東北太平洋側	30	40	30

<気象経過の各階級の確率（%）>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	20	30	50